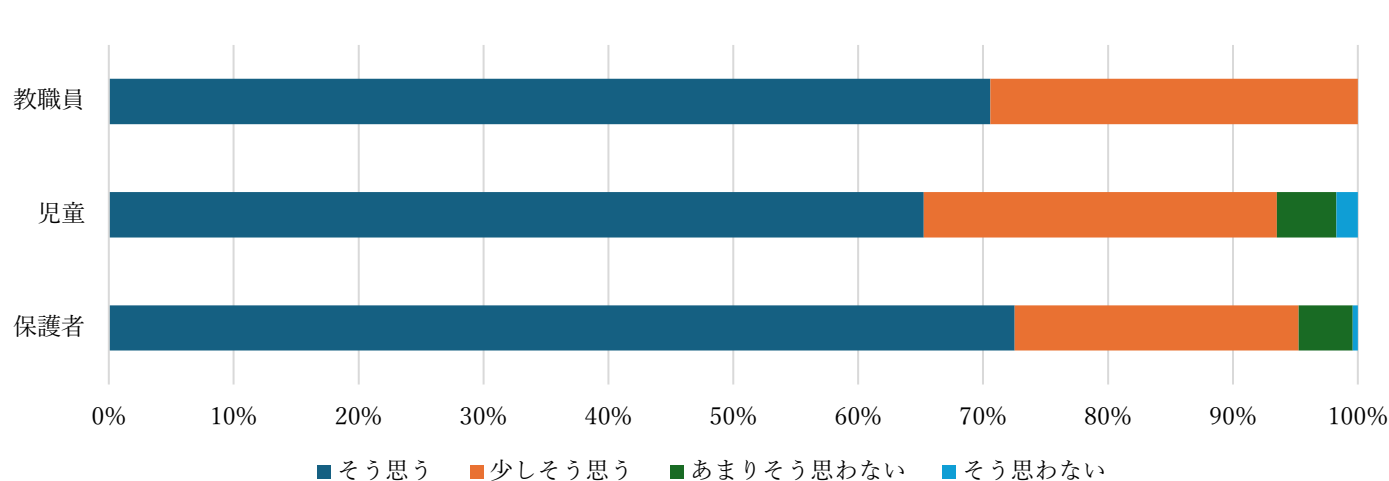


# 令和7年度 坂戸小学校 学校評価アンケート結果報告

保護者の回答、児童の回答、教職員の回答を比較しながら、成果と課題について分析しました。尚、質問項目につきましては、簡略させていただきました。

## 1. 楽しく学校に通っています。



	保護者	児童	教職員
そう思う	73%	65%	71%
少し そう思う	23%	28%	29%
あまり 思わない	3%	5%	0%
そう思わない	1%	2%	0%

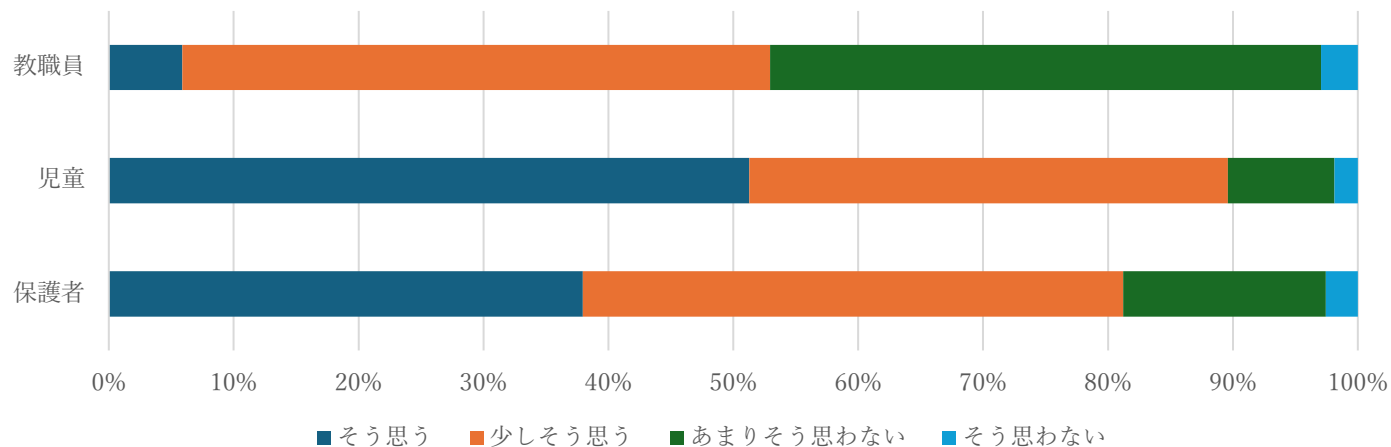
新校舎での生活が始まり、校舎内には子どもたちの明るい声が響いています。アンケートでは昨年に引き続き、多くの方々から「楽しく学校に通っている」との心強い回答をいただきました。新しい環境への期待が、子どもたちの意欲につながっていることを職員一同嬉しく感じております。

子どもたちが学校が楽しいと感じる理由は様々です。友達と一緒に思いきり笑い、遊ぶとき。「そうか!」と学びの面白さに気づき、できる事が増えたとき。係活動などで誰かのために頑張る喜びを感じたとき。私たちはこうした日常の何気ない瞬間こそが、子どもたちの成長の糧になると信じています。これからも、一人ひとりが「自分は大切にされている」と実感できる学級づくりを大切に、対話を通して「わかった!」という感動を分かち合える授業づくり、そして誰もが主役になれる場づくりに励んで参ります。

また、学校生活に不安や悩みを感じている声があることを真摯に受け止めております。すべての子どもたちが安心して過ごせるよう、一人ひとりの心に寄り添いながら、日々の教育活動を丁寧に進めていきたいと思っております。

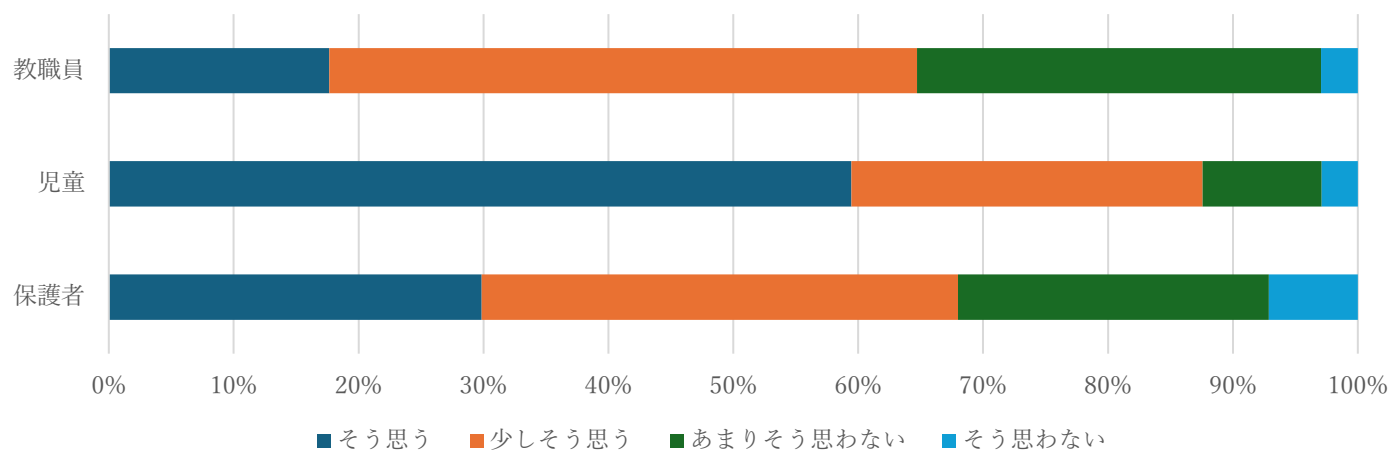
# 明るく健康な子

## 2. 自分から進んで返事やあいさつができます。



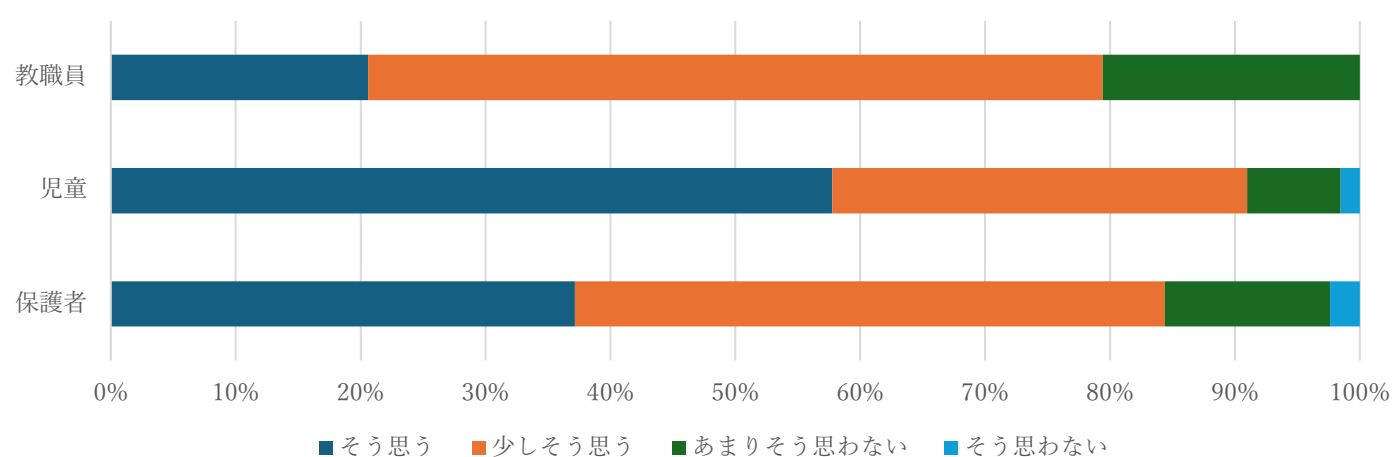
	保護者	児童	教職員
そう思う	38%	51%	6%
少し そう思う	43%	38%	47%
あまり 思わない	16%	9%	44%
そう思わない	3%	2%	3%

## 3. 学校で元気よく体を動かしています。



	保護者	児童	教職員
そう思う	30%	59%	18%
少し そう思う	38%	28%	47%
あまり 思わない	25%	10%	32%
そう思わない	7%	3%	3%

#### 4. 日頃の生活で、自分の健康や安全について意識しています。



	保護者	児童	教職員
そう思う	37%	58%	21%
少し そう思う	47%	33%	58%
あまり 思わない	13%	7%	21%
そう思わない	3%	2%	0%

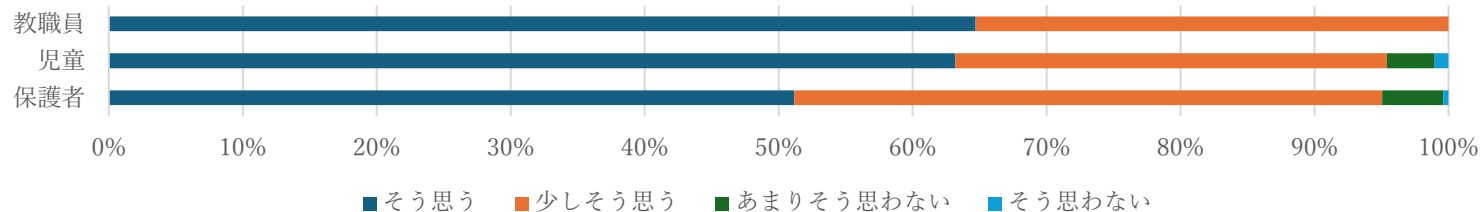
2では、90%近くの子どもたちが「そう思う」「ややそう思う」と回答していますが、半数近くの教職員が「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答しています。保護者の80%が「そう思う」「ややそう思う」と回答しているのを鑑みると、家庭や地域では進んであいさつができていますが、学校ではあいさつや返事ができていないと判断している教職員が多いことがわかります。学校目標の一つになっているので、誰が見ても進んであいさつや返事ができるようになることが必要です。

3では、85%以上の子どもたちは学校で元気よく体を動かすことができると回答しています。教職員の回答をみても75%以上が「そう思う」「ややそう思う」と回答しています。体育の授業やクラブ活動で高津中学校の協力をいただき、校庭を利用させていただいていることで、体を動かす活動を維持することができていると考えられます。ミニ校庭を活用することもできるようになり、子どもたちが体を動かす場が増えたことも要因の一つと考えられます。また、保護者の「あまりそう思わない」「そう思わない」の回答も昨年よりも11ポイント少なくなりました。

4では、90%以上の児童が「そう思う」「ややそう思う」の回答をしています。今年度より校舎が新しくなり、教室や廊下が広くなったり、窓が増えて見通しが良くなったりしたことも安全な学校生活を送ることができていると感じられることにつながっていると考えられます。また、食育の面では栄養士による巡回指導、安全の面では養護教諭による保健指導など健康についての指導を行っていることも児童が自分の健康や安全について意識することにつながっているととらえられることから、今後も指導を継続していきたいと思えます。

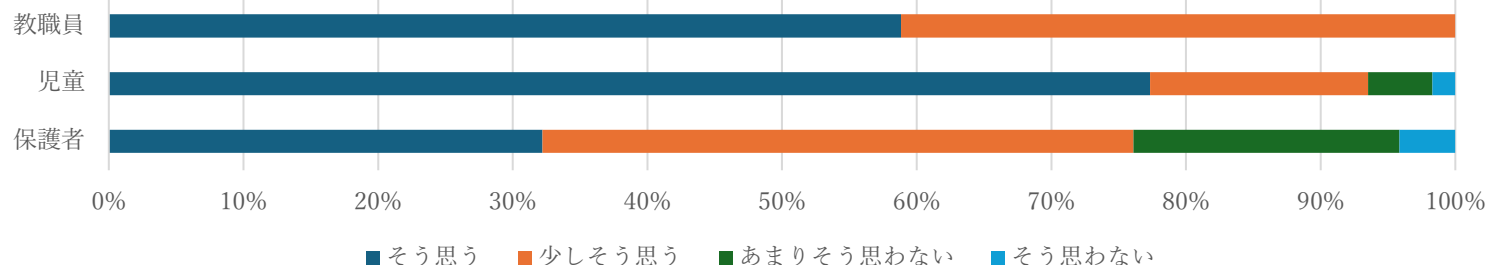
# やさしく思いやりのある子

5. 学校で友達にやさしくしたり、  
周りの人のことを考えて行動したりしています。



	保護者	児童	教職員
そう思う	50%	63%	65%
少し そう思う	44%	32%	35%
あまり 思わない	5%	4%	0%
そう思わない	1%	1%	0%

6. 学校で困ったときに、友達や先生に相談しています。



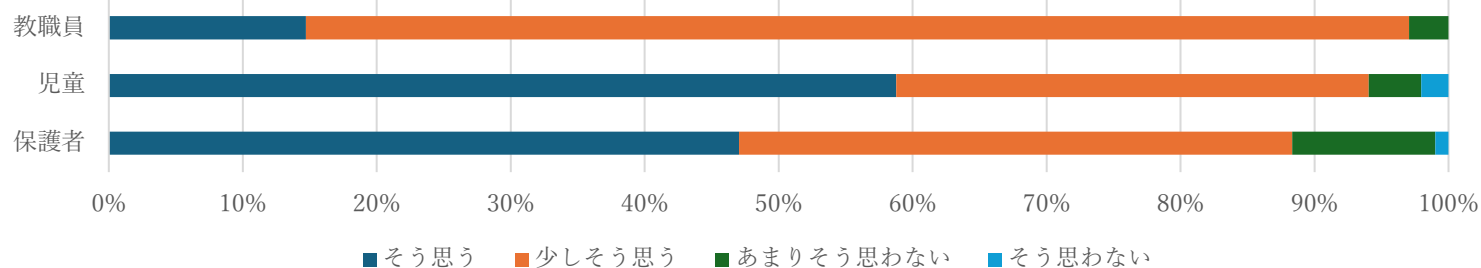
	保護者	児童	教職員
そう思う	32%	77%	59%
少し そう思う	44%	16%	41%
あまり 思わない	20%	5%	0%
そう思わない	4%	2%	0%

5では、保護者・児童・教職員ともに「そう思う」「ややそう思う」という回答が90%を超え、昨年度に引き続き坂戸小の児童の素直で優しい側面が現れているように思います。「あまりそう思わない」「そう思わない」という回答が数%あることを踏まえ、今後も特別活動・共生共育プログラム・人権尊重教育などを計画的に実施し、自他共に大切にすることを育てていきます。

6では、昨年度同様90%以上の児童は「そう思う」「ややそう思う」という回答をしています。一方保護者は、昨年度同様児童・教職員に比べ「あまりそう思わない」「そう思わない」という回答が多い結果となりました。児童は家庭で、友達や先生に相談したり解決したりしたことはあまり話さず、相談せずに困っていることを話しているとも考えられます。先生への相談を促しつつ、話の中で気になることがあれば遠慮なくご連絡ください。ご家庭と協力して児童を支えていきたいと考えます。学校で相談できていない児童の中には、援助要求が苦手だったりどう伝えればよいかわからなかったりするケースもあるように思います。引き続き、学校生活アンケートへの記述を促し迅速に相談に対応しながら、「SOSの出し方・受け止め方教室」も継続していきます。

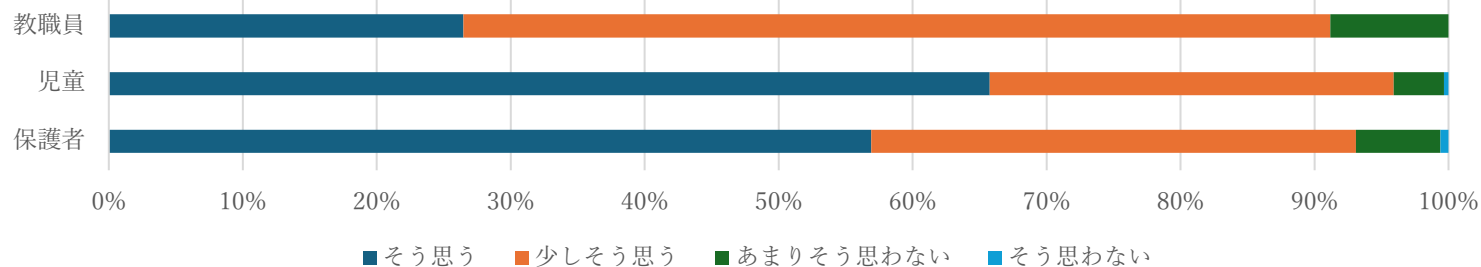
# よく考え行動する子

## 7. 学習内容を理解しています。



	保護者	児童	教職員
そう思う	47%	59%	15%
少し そう思う	41%	35%	82%
あまり 思わない	11%	4%	3%
そう思わない	1%	2%	0%

## 8. 約束を守って行動しています。



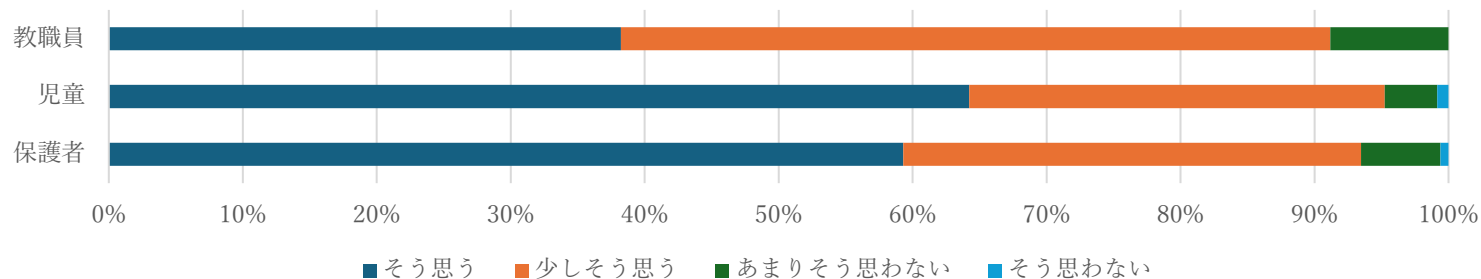
	保護者	児童	教職員
そう思う	57%	65%	26%
少し そう思う	36%	30%	65%
あまり 思わない	6%	4%	9%
そう思わない	1%	1%	0%

7では、90%以上の保護者・児童・教職員が「そう思う」「ややそう思う」と回答しています。教職員が、児童の学び合いを大切にしたり、教科ごとに児童が必要感をもって学べるように授業の準備をしたりしたことが学習内容の理解につながったと考えています。また、保護者の方が児童の学習の様子をご家庭で見守り、学習内容の理解度を把握していただいていることがわかります。その一方で、「あまりそう思わない」「そう思わない」という意見もあります。教職員が指導や支援の方法について研鑽を積み、児童一人ひとりにできる喜びや分かる楽しさ、集団で学ぶよさを味わわせることができるよう、さらなる指導力向上を目指していきます。また、児童が自分自身の学び方を知り、意欲的に学習に取り組むことができるよう個に対する支援も継続して行っていきます。引き続き、授業参観や個人面談などで学校での学習状況を伝えたり、家庭での児童の様子を聞いたりしながら、よりよい指導を考えていきたいと思えます。

8では、保護者・児童・教職員共に「そう思う」「ややそう思う」が多いものの、新しい校舎になったことで、校舎の使い方や遊び方などで戸惑う場面も見られました。みんなが気持ちよく過ごすことができる学校にしていきたいために、どのような約束と行動が望ましいのか児童・教職員と共有するとともに、約束を守ることの大切さについても継続して指導していきます。

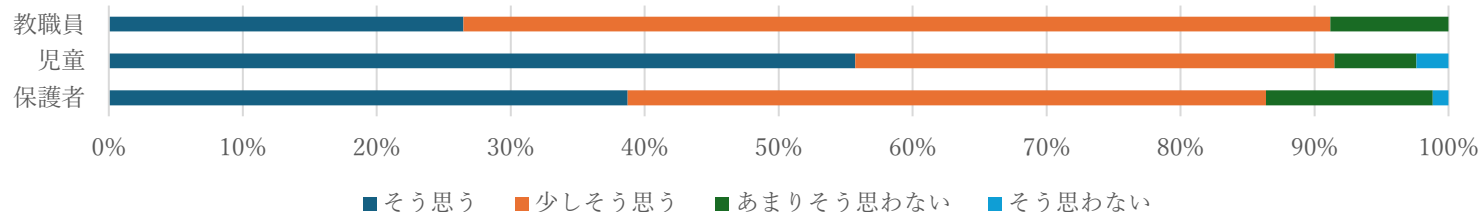
# 最後までやりとげる子

## 9. 学校での自分の役割に責任をもち、工夫して取り組んでいます。



	保護者	児童	教職員
そう思う	59%	64%	38%
少し そう思う	34%	31%	53%
あまり 思わない	6%	4%	9%
そう思わない	1%	1%	0%

## 10. 困ったときや苦手なことにも 最後まであきらめずに取り組んでいる。



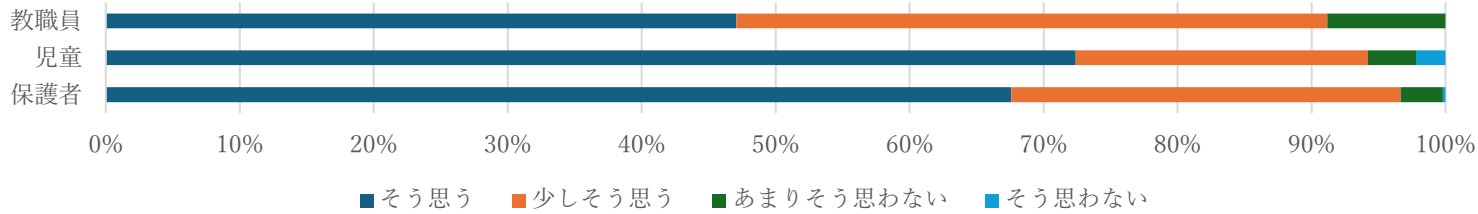
	保護者	児童	教職員
そう思う	39%	56%	26%
少し そう思う	48%	36%	65%
あまり 思わない	12%	6%	9%
そう思わない	1%	2%	0%

9では、児童・保護者とも、約6割が「自分の役割に取り組んでいる」と回答しています。学校行事・委員会活動・クラブ活動以内にも学級での係活動や実行委員など、児童が活躍できる場を教職員が工夫している成果が児童の意欲につながっていると考えます。責任をもって取り組める児童は多いのですが、工夫することに関しては手立てが必要になってくる場合があります。9割以上の児童が「そう思う」「ややそう思う」と感じられるように、今後も活動の場をさらに充実させていきます。

10では、半分以上の児童が「そう思う」と回答していますが、保護者や教職員の割合はやや低くなっています。学校生活の中では様々な困難が予想されます。児童が困ったときに学校やご家庭で適切な支援があり、その結果、9割以上の児童が「最後まで取り組めた」と感じ、児童の自己肯定感の高さにつながっていると考えられます。1割弱の「あまり思わない」「そう思わない」と回答した児童に対しても、教職員同士やご家庭と連絡を取り合い、個に応じた支援を考えていきます。

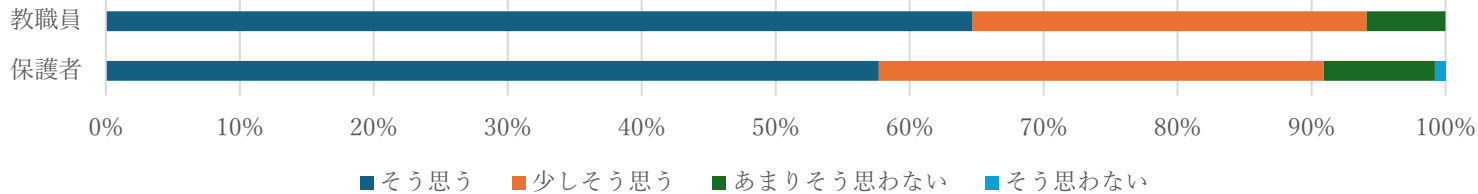
# 地域とある学校

1 1. 坂戸小学校は、川崎市や地域のよさを活用した学習に取り組んでいます。



	保護者	児童	教職員
そう思う	67%	72%	47%
少し そう思う	29%	22%	44%
あまり 思わない	3%	4%	9%
そう思わない	1%	2%	0%

1 2. 坂戸小学校は、学校だより、懇談会、学校説明会、ホームページなどで学校の様子を伝えています。



	保護者	教職員
そう思う	58%	65%
少し そう思う	33%	29%
あまり 思わない	8%	6%
そう思わない	1%	0%

1 1では、「そう思う」「少しそう思う」と答えた児童の合計が90%以上となっています。本校では、各教科等の特質と各学年の発達段階に応じて「近隣の保育園（幼稚園）との交流」「畑を借りての大根栽培体験」「町探検」「市内めぐり」「消防署見学・体験」「浄水場見学」「ユウグレナ社による出前授業」「フロンターレサッカー教室」「ブレイブサンダースバスケットボール教室」等地域教材を生かした教育活動を行っています。また、本校には有志による合唱団があり、地域に歌声を披露する場を設ける活動も行っています。これからも生活科・総合的な学習の時間などを有効に活用し、自分たちが住んでいる地域の良さを知り、地域への愛着と社会の一員としての意識を育成していきたいと思えます。

1 2では、「そう思う」「少しそう思う」と答えた保護者の合計が90%となっています。今年度も定期的に授業参観や懇談会、面談等で学校の様子をお伝えしてきました。また、ミマモルメやホームページ等でも学校の様子を発信してきました。ご家庭と学校が協力して児童の成長を支えることができるよう、今後も学校教育活動についてお伝えしていきます。来年度以降も、ぜひ学校に足を運んでいただき、お子様の活動の様子をご覧いただけますと幸いです。